

**製品名: NTH1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe85872**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 34 kDa; Observed MW: 34 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NTH1
別名	FAP3; NTH1; OCTS3; hNTH1
遺伝子 ID	4913.0
SwissProt ID	P78549
免疫原	ヒト NTH1 の組み換えタンパク質

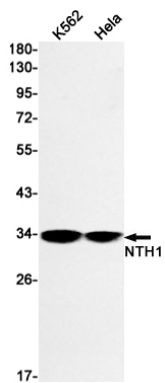
**背景**

二機能性 DNA N-グリコシラーゼで、関連するアプリン/アピリミジン (AP) リアーゼ機能が、酸化 DNA 損傷の修復における主要な修

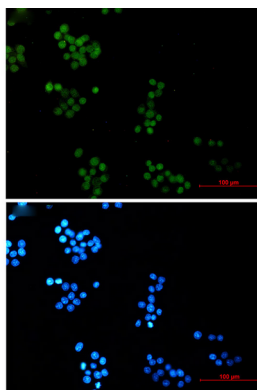
復経路である塩基除去修復 (BER) の第一段階を触媒します。DNA N-グリコシラーゼ活性は、N-グリコシド結合を切断して AP 部位を残し、損傷した DNA 塩基を DNA から遊離させます。AP リアーゼ活性は、 $\beta$  脱離によって AP 部位の 3' 側のホスホジエステル結合を切断します。主にピリミジンの酸化塩基損傷を認識し、修復します。また、8-オキソ-7,8-ジヒドログアニン (8-oxoG) DNA グリコシラーゼ活性も有します。DNA 内のグアニン残基の反対側の DNA 損傷に優先的に作用します。ヌクレオソームの破壊を必要とせず、または誘発することなく、ヌクレオソーム内の損傷を処理できます。

## 研究分野

## 画像データ



NTH1 抗体を使用した K562、HeLa 溶解物中の NTH1 のウエスタン プロット分析。



NTH1 抗体と DAPI (青) を使用した HeLa 中の NTH1 (緑) の免疫細胞化学分析。